



Mレポート VOL.12 (2011.3.30)

志賀光法(しがみつのり)の市議会報告

後援会事務所: 〒754-1311宇部市小野区下小野TEL/FAX64-5066
ホームページ: <http://genki.city-ube.jp> メール: genki@city-ube.jp

【宇部市平成23年度予算版】

(宇部市の財政事情)

本市の財政状況は、義務的経費が高水準にあるため、平成21年度決算では、財政構造の弾力性を示す経常収支比率が98.2%に悪化するなど硬直化が一層進行し、本市の直面する課題解決のための財源確保が困難な状況になりつつあります。

さらに、中期財政見通しによると、平成23年度以降は、現下の経済情勢等により、市税収入が大幅に減少する一方、福祉関係経費の増大が見込まれており、財政調整基金の残高を考慮すると、依然、予断を許さない状況にあります。

(平成23年度予算編成の基本方針)

平成22年度の予算編成に当っては、歳入に見合う歳出となるよう財政調整基金の繰り入れに依存しない財政運営へと転換を図っていくことを基本とし、平成22年策定の財政健全化計画で示した経常収支比率の改善や市債残高の軽減に取り組み、行財政改革加速化プランの実践や、職員給料の特例的な一部カットの継続など、見直し効果額を予算反映させ、また、限られた財源を有効に活用するため、公民連携や部局間の連携を強めることで予算の効率性を高めるとともに、喫緊の課題である雇用・景気対策を切れ目無く実施するため、国の緊急総合経済対策を活用し、平成22年度補正予算をあわせた「15ヶ月予算」として編成されました。

(平成23年度予算規模)

一般会計 614億円 対前年度比 1.3%増
特別会計 356億80万円 対前年度 1.0%の増
合計 970億80万円 前年対比1.2%の増

【3月議会質問】3月11日(金)に登壇発言をいたしました(質問・答弁の抜粋です!)

【志賀】深刻化している野猿(サル)生息実態と被害状況を把握しているか?

【市長】本市北部から山口市にかけて移動を繰り返してしているとされ、関係者からの聞き取りでは50~100頭の群れが7、8群いるとみている。JA山口宇部によると農作物の被害はここ数年300万円~400万円で推移しており、その他、自家用野菜にもおよんでいる。

【志賀】被害防止対策の現状と実績は?

【市長】市有害鳥獣捕獲対策協議会で、藤河内集落にサル接近警報システムを2基設置するとともに、捕獲を行っている。2009年は51頭、2010年は16頭。

【志賀】サルが人慣れする前に新たな対策は講じられないか

【市長】2011年度に銃器による捕獲従事者を2人から7人に増員し、追い払い資材の購入や効果が安定して見込めるサル用捕獲檻の追加導入を予定している。また、県が計画している広域捕獲班の活用も予定しています

【志賀】イベントイヤーの年、街じゅうWiFi化(公衆無線LAN)で最高のおもてなしを

【市長】先行実施している他市の状況を注視するなど、総合的に勘案する必要あり、今後の検討課題にしたい。イベント会場の情報通信環境の充実は重要だと考えているので積極的に取り組んでいきたい。

3期目となった平成19年6月議会から平成23年3月議会まで、代表質問の時、一度だけ会派代表者の植松議員に私が書いた質問書で質問していただきましたが、その他の議会では一度も欠かすことなく登壇発言しました写真は昨年9月議会での自席から再質問しているところです。



【平成23年度の新規事業の主なもの】

- 市民志立市民大学運営事業 115万円(人材育成と市民力の向上を目的に環境・健康・文化の3学部からなる市民大学を開設・運営)
- 地籍測量図等電子化事業 3,202万3千円(分間図等の電子データ化)
- 旅券交付事業 472万円(月2回の県の出張バスポートセンターを宇部市において常時開設)
- 中山間地域集落機能支援事業 1,079万4千円(NPO法人等との協働により、中山間地域における集落の維持、活性化を図るための支援体制を検証・構築)
- ソーシャルサポート事業 864万円(経済的な理由により就労や起業ができない市民の職業自立するための支援体制構築)
- 西宇部地区コミュニティ交通実証実験 141万9千円(JR宇部駅北側をモデル地区として行うコミュニティ交通実証運行)
- 基幹情報システム構築事業 2億円(市民サービスの向上・運用経費の低廉化・業務の効率化のため、業務見直しを行い業務コンピューターの標準システムを導入)
- スポーツ振興計画推進事業 66万円(新たなスポーツ人口増加につながる行事に助成)
- 観光ナビゲータシステム開発事業 525万円(スマートフォンを活用した観光ナビゲーターシステムを開発しビエンナーレ開催時に常盤公園内で実証実験を実施)
- 小学校エコスクール事業 120万円(藤山小学校校庭の芝生化)
- 議会だより発行事業 158万2千円(定例会ごとに議会だよりを発行)
- 常盤公園堆肥場整備事業 1,000万円(常盤公園に堆肥場建設)
- 学校給食施設整備事業 504万円(新学校給食センター建設の為の基本設計)
- わたしたちの道づくりサポート事業 100万円(市民力による道路整備事業への支援)

【国体・ビエンナーレ等イベントイヤー関連予算の主なもの】

- JR東新川駅改札口整備事業 1,050万円(JR東新川駅北側に改札口を新設)
- JR新川駅前広場バスシェルター・自転車駐輪場設置事業 3,874万8千円(市街地の玄関口であるJR新川駅前広場においてバスシェルター及び自転車の駐輪場を整備)
- 国体推進事業 2億3,178万8千円(国体を盛り上げる準備と円滑な運営の為の経費)
- 第24回UBEビエンナーレ 5,567万4千円(50周年を迎える野外彫刻展を開催し、合わせて彫刻サミットやWAKUWAKUまちじゅうビエンナーレ支援事業を実施)
- UBEビエンナーレまちなかアート・フェスタ 400万円
- UBEビエンナーレフラッグデザインコンテスト 100万円
- UBEビエンナーレ紹介展 250万円(北九州市私立美術館と共同開催)

平成23年度宇部市予算(北部地区の主なもの)

- 農地・水・環境保全向上対策経費 609万9千円(6活動組織 21集落 約527ha)
- 中山間地域直接支払費補助経費 4,595万5千円(小野、厚東、吉部、万倉)
- 有害鳥獣捕獲対策費補助金 480万7千円
- 地籍調査費(桧小野・船木 1.86Km²) 3,701万6千円
- デマンド交通運行経費 2,516万4千円(二俣瀬、小野、吉部、万倉、JR宇部駅北側)
- 第22回宇部八十八夜お茶まつり 214万円
- 県営土地改良事業 桧小野南部圃場整備 1,343万円
- 準用河川改修(本浴川L20m・宇内川L30m・東谷川L40m・他) 合計31,440万8千円
- 立熊沖田線道路整備事業費(合併道路) 6,586万5千円(平成26年度未完了)
- 厚東小学校体育館耐震補強事業 1,230万円